

関野常勝

〔民主クラブ〕

市道及び橋梁の整備は

問 市道、交差点等の危険箇所を把握しているのか。また、整備計画は。

答 市が管理する道路延長は、681.8kmで、路線数は1,483箇所であり、定期的な道路パトロールにより、危険箇所の把握を行い、交通事故を誘発させないように舗装の補修、街路樹の剪定など道路施設の整備を実施している。冬季においても、交差点のすべり防止の為、危険箇所として市街地62箇所、



五区山部線と東20線の交差点

農村部6箇所の交差点に砂まき等を実施している。

問 危険箇所を想定する中で、幹線である5区山部線と道道山部北の峰線の交差点がある。本年7月に5区山部線の事業が予算化されているが、この交差点で、さしかかる部分の勾配を緩やかにすべきと考えているが、配慮した計画はないのか。

答 本年8月30日に5区山部線舗装改修工事が発注済となっている。過去にも人身事故が起きていることから、この工事の中で勾配緩和を計画実施する。

問 災害における橋梁の耐久性と地震時に通行を確保すべき道路に対しての修繕計画は。

答 市道橋長寿命化計画に基づき、緊急性、地震時における橋梁の健全度を把握し、優先順位の高いものから修繕を行う。現在緊急を要する橋梁は、東5条橋、扇山橋の2橋であり、市が指定する地震時に通行を確保すべき道路にかかる橋梁5橋についても、優先的な順位での修繕工事を計画し、災害時の緊急輸送道路としても利用可能な道路整備を進めていく。

萩原弘之

〔民主クラブ〕

市有財産の利活用は

問 旧山部支所解体後の利用は。



旧山部支所跡地

答 山部地区総合振興協議会から「駐車場として利用ができ、イベント広場としても整備を願いたい」と要望をいただいている。地域にとって満足してもらえるような利活用を検討する。

問 未利用の土地の処分に対する考え方は。

答 未利用財産を検討する利活用方法としては、行政目的での利用や地域法人への貸与や譲渡、他の公共機関への貸付や譲

渡、民間への貸与・売却を検討している。貸付や売却が決定された土地については、地域からの要望があれば貸付けていく。また、売却については民業を圧迫しないように適正価格で販売をし、第一には価格を提示した住居用に分譲しこの後はオークションなどで売却に取り組む。

公営住宅の建替え・営繕

問 公営住宅の階層・構造の考え方は。

答 敷地面積や住環境の観点から2階建とし入居者の世帯構成を考慮し小規模な2LDKタイプの建設を行う。また、入居者のニーズは多種多様であるが、低層部は高齢者世帯等を優先とし、将来の団地像を意識して建設をしていく。

問 建設計画の見直しと既存住宅の長寿命化の方向性は。

答 将来の人口推計や民間住宅を含めた市場のストック状況等を想定して建替え・改修の計画を進める。

今後とも様々な社会環境の変化に応じ、効果的な公営住宅の供給・改修をしていく。